School Correspondence

広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

６年生、東京方面へ修学旅行

東京駅をみんなで歩いたよ

青山学院でレクを楽しんだよ

礼拝堂の厳かな雰囲気の中での合唱

1日目

将来の自分の姿を思い浮かべながら

飛行機の大きさに圧倒されながら

カレーにブッフェ、
たくさんの食事で大満足

普段は味わえない雰囲気だね

自分たちで作り上げていく修学旅行

十月三十一日（月）、十一月一日（火）の二日間、六年生は東京方面への修学旅行に行ってきました。「みんなが笑顔になれる修学旅行をつくろう」という学年テーマのもと、協力して楽しい旅行をつくってくることができました。

一日目は、普段利用する機会の少ない飯山駅から北陸新幹線でスタートです。長野までわずか十分足らず、「えーもう長野！」という声も上がり、東京までの二時間あまりの旅もあっという間に過ぎていきます。初めての経験となる子どもが多い東京駅の人ごみを通り抜け、バスに乗って青山学院初等部を訪問しました。三年前の二月、信濃町で出会った友達との再会、ドキドキしながら出迎えを受けました。青山学院のみなさんの計画で、グループごとにレクリエーションを楽しみました。さすがは子どもたち、始まってしまえば、昔からの友だちのように交流を楽しんでいきます。中には名前を呼ばれて「えー、覚えていてくれたんだ」と感動する場面もありました。

続いて訪れた国会議事堂やＡＮＡ羽田機体整備工場では、信濃町では見ることのできない、「まさに東京」といった景色や様子にただただ驚き感動している姿が見られました。夜、宿舎に入った子どもたちは、それぞれの係活動に取り組んでいきました。入館式を自分たちですすめていく宿舎係の姿、自分の部屋に入り荷物整理やまとめのメモを自主的に書き込んでいく姿、楽しそうな入浴の様子、それぞれに充実した一日目のまとめを送っていきました。一日目最後のまとめの会では、二日目に頑張りたいことに加えて、一日目自分たちが良かったことも発表しあい、二日目への期待をもって就寝しました。

東京スカイツリーではソラカラちゃんと記念撮影

眼下に雲を見ながら

2日目

東京ドームシティでも大ハッスル

国立科学博物館で科学の世界に浸りました

2日間が終わってしまうんだね

太古の生物の神秘に触れました

二日目、まず向かった東京スカイツリー。快晴の天気、という訳にはいきませんでしたが、その分、自分たちの下の方に雲がかかっている様子をながめることができ、その高さを実感することができました。スカイツリーでは、お土産を買う時間もあったのですが、子どもたちが周りのお客さんに気を遣いながら、落ち着いた様子で買い物をする姿に、六年生としての素晴らしさを感じることができました。続いて訪れた東京ドームシティアトラクションズ、そして最後の見学地である国立科学博物館では、それぞれグループ活動の時間をとりましたが、事前の計画を大切にしながら、その場で友だちとの相談を加えて臨機応変に見学を楽しんでいく様子が見られました。

上野駅から新幹線に乗り、帰途につきましたが、電車の中では「もう終わりー」「まだ終わりの会、やりたくないよー」「楽しすぎた！」といった声が子どもたちから聞かれ、二日間の思い出を友だちと話す姿がいたるところで見られました。

信濃町に着いた時は、すでに真っ暗。当然疲れている子どもたちではありましたが、その表情はさわやかな笑顔にあふれていました。そんな楽しい旅行は、たくさんのみなさんに支えられていることを子どもたちともう一度確認していきたいと思います。

これからの六年生の活躍がさらに楽しみになる、そんな二日間になりました。